

平成 22 年 9 月 21 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

組織の変更について

当行は、以下のとおり組織変更を行います。

1. 組織変更の内容

- (1) コーポレートスタッフ部門
 - (i) 金融インフラ部門事務管理本部内の事務管理部などの機能の一部を移管し、事務合理化や効率化に係る指導などを行う「業務管理部」を新設します。
 - (ii) グループ IR・広報部の名称を「IR・広報部」に変更します。
- (2) 法人部門
 - (i) 法人営業本部内の営業第一部から営業第八部は、担当する顧客企業の業種に基づいて、「営業第一部」、「営業第二部」、「営業第三部」に再編し、従来に増して中堅中小企業取引に注力することとします。中小企業向け新規開拓専門部署であった営業第九部を、「営業第四部」とします。
 - (ii) 法人営業本部内の金融法人第一部、第二部および法人営業部は、「金融法人営業部」に統合します。
 - (iii) 法人営業本部内の大阪営業第一部および第二部は、「大阪営業部」に統合します。
 - (iv) 独立部であるヘルスケアファイナンス部は、法人営業本部内に編入します。
- (3) マーケット・投資銀行部門
 - (i) IG 管理部を「MIG 管理部」に名称変更します。
 - (ii) キャピタルマーケット部内のアセットバック投資担当を独立させて新設する「アセットバック投資部」、プリンシパルトランザクションズ本部内の国際投資部を、それぞれ部門内独立部として位置づけます。また、プリンシパルトランザクションズ本部内の不動産投資部を廃止し、同部が行う不動産エクイティ投資は、今後、投資回収業務のみを行うこととし、不動産ファイナンス本部内不動産ファイナンス部に編入します。
 - (iii) キャピタルマーケット部のキャッシュコラテラル管理担当、財務部門内グループ財務部の債券発行管理業務は、新設する「トレジャリー本部」に移管します。また、キャピタルマーケット部は「市場営業本部」として再編します。
- (4) 個人部門
 - (i) マーケティング部を「顧客開発部」に名称変更します。
 - (ii) リテールサービス本部内リテールシステム部を廃止します。
- (5) リスク管理部門
 - (i) 法人・商品部門の改編に合わせた各部門に応じた審査機能の拡充および業務の効率化のため、クレジットリスク部を「法人審査部」と「ストラクチャードリスク管理部」に分割するとともに、一部の機能を審査業務部に移管します。
- (6) 財務部門
 - (i) グループ財務管理部、グループ財務経理部を「財務管理部」に集約し、国際会計基準推進室を「財務管理部」の内室とします。
 - (ii) グループ財務部を「財務部」に名称変更します。
 - (iii) グループ企業分析部を「財務企画部」に名称変更します。

- (iv) グループ経営管理統轄部を「経営管理統轄部」に名称変更します。
 - (v) CFO 室を廃止します。
- (7) 金融インフラ部門
- (i) 事務管理本部、システム本部、オペレーション本部の 3 本部体制を廃止します。
 - (ii) テクノロジーサポート部、オペレーションサポート部は廃止します。
- (8) ノンコア業務資産の削減を中心に、リスクアセットの再構築を推進するため、社長直轄のプロジェクトチームとして、「資産最適化プロジェクトチーム」を発足します。

2. 実施日

平成 22 年 10 月 1 日